

PTA さっぽろ

第116号 2017.7.25

編集・発行 札幌市PTA協議会 広報委員会
<http://www.sapporo-pta.gr.jp>
 shipikyo@sapporo-pta.gr.jp
 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1-1-10
 札幌市生涯学習総合センター3F
 ☎ 011-671-2371
 印刷 株式会社クイ印刷

平成29年度 定期総会開催

5月23日(火)、ロイトン札幌において、平成29年度一般社団法人札幌市PTA共済会定時社員総会および、札幌市PTA協議会定期総会が開催されました。

札幌市PTA共済会に關しては、平成28年度の事業・決算報告と平成29年度の事業計画・予算の4議案が全会一致で承認・可決されました。

続いて開催された札幌市PTA協議会定期総会では、大森義行会長の挨拶のあと、札幌市教育委員会次

長の大友裕之様、札幌市小中学校長会会長の野寺克美様(代読)、事務局局長鈴木宏宣様より、来賓祝辞をいただきました。

議事に関しては、平成28年度の各事業・決算の報告、平成29年度の運営方針・事業計画・予算の支出および、新役員の承認についてなど15議案について全会一致で承認・可決されました。

また最後に行われた、平成28年度優良PTA表彰では、1園17校が受賞しました。



教育支援金は以下の事業補助に活用されました。

被災地の子どもたちの心のケアに対する支援

被災地の子どもたちとの交流事業

被災地の子どもたちの教育環境整備に対する支援

たしました。これに伴い、札幌市PTA協議会も支援金募金活動を終了させていただきました。お知らせさせていただきます。

なお、3月31日までに、札幌市PTA協議会への教育支援基金募金口座にお振り込みいただきました金額は、18,259,466円となりました。

この募金額は、全額、公益社団法人日本PTA全国協議会の「日本PTA心のきずな61教育支援基金口座」に振り込ませていただきましたので報告させていただきます。

東日本大震災に対する「日本PTA心のきずな61教育支援基金」

支援金募金活動終了のお知らせ

公益社団法人日本PTA全国協議会の「支援募金活動」の呼びかけに、全会員の皆様にご協力をお願いいたしました「東日本大震災に対する「日本PTA心のきずな61教育支援基金」」の募金活動ですが、東日本大震災から6年が経過し、公益社団法人日本PTA全国協議会は当初の計画通り、平成29年3月31日をもって、「心のきずな61教育支援基金」への募金活動を終了いたしました。これに伴い、札幌市PTA協議会も支援金募金活動を終了させていただきました。お知らせさせていただきます。

日頃より札幌市PTA協議会の活動にご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。平成29年度札幌市PTA協議会の会長を務めさせていただくことになりました、土田修と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、子どもたちを取り巻く環境は急速に変化しています。平成28年の出生数は100万人を切り、少子高齢化・人口減少の傾向がはっきりと現れました。共働き世帯数が増え、主婦世帯数を大きく上回り、その傾向はさらに進んでいます。インターネットやスマートフォン、タブレットの普及、ネットトラブルに子どもたちが巻き込まれる事も起きています。このような少子高齢化・人口減少、共働き世帯の増加、情報化社会と国際化の進展というような社会の変化の中で、私たちは学校・家庭・地域で子どもたちを育てるといふ基本に立ち返り、学校・家庭・地域として関係機関との連携を深めることにより、社会の変化に対応し得る教育力の向上に努めていかなければなりません。

一方でこのような社会の変化は私たちの活動にも大きく影響を与えています。特に少子高齢化・人口減少と共働き世帯の増加は私たちの活動に大きな影響があります。これからは子どもたちを支えていく活動を続けていくために、時代の変化に合わせて活動を変化させていくことも必要です。その際に大切なのは単純に変化のみを求めるのでは

なく、変えていかなければならないところと変えてはいけないところを見極めていくことが必要です。改革の目的は活動の縮小ではなく充実であることとを忘れてはなりません。

平成29年6月、教育再生実行会議から「自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子どもを育む教育の実現に向けた、学校、家庭、地域の教育力の向上」が提言されました。まさに私たちが望み、これまで行ってきた活動であり、これからは私たちが目指し進めていく所であります。

今年度も札幌市PTA協議会は「社会の宝である子どもたちの成育に大人ができることをできる範囲で支えていく」という基本概念のもと、学校・家庭・地域がより連携を深め、保護者とその変化に対応出来るような学びと家庭教育力の向上、子どもとともに歩んでいくために必要な情報の収集および共有を進め、子どもたちの将来に責任の持てる社会を創るための活動を進めてまいります。引き続き皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今年度も札幌市PTA協議会は「社会の宝である子どもたちの成育に大人ができることをできる範囲で支えていく」という基本概念のもと、学校・家庭・地域がより連携を深め、保護者とその変化に対応出来るような学びと家庭教育力の向上、子どもとともに歩んでいくために必要な情報の収集および共有を進め、子どもたちの将来に責任の持てる社会を創るための活動を進めてまいります。引き続き皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今年度も札幌市PTA協議会は「社会の宝である子どもたちの成育に大人ができることをできる範囲で支えていく」という基本概念のもと、学校・家庭・地域がより連携を深め、保護者とその変化に対応出来るような学びと家庭教育力の向上、子どもとともに歩んでいくために必要な情報の収集および共有を進め、子どもたちの将来に責任の持てる社会を創るための活動を進めてまいります。引き続き皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

楽しみながら継続し 上達を目指す!!

無料体験 随時受付中!

「蹴道サッカークラブ」は、4才から小学6年生を対象としたサッカー・フットサルスクールの運営やチアダンスチームの運営を行っています。

蹴道サッカークラブ
 多くの子どもたちが楽しくサッカーと触れ合える安全でのびのびとした環境を提供しています。少人数制で指導を行うので個々にあった指導ができ、初めてのお子様でも無理なくプレーができるようになります。

旭ヶ丘、山鼻、伏見、発寒、宮の沢、新川、月寒にて開催中

蹴道チアダンスクラブ
 ポンダンス・ラインダンス・ジャズダンス・ヒップホップなど様々なダンスジャンルを取り入れながら楽しく踊ります☆
 講師は、北海道を代表するプロスポーツチームでの専属チアリーダーを経験!チアダンスを通して、一人一人の個性が輝く楽しくダンスをする事を目標としています。

発寒スクール・旭ヶ丘スクール・宮の沢スクール

体験・見学のお問い合わせ・入会の申し込みは
一般社団法人 蹴道サッカークラブ
 〒064-0821 札幌市中央区北1条西21丁目3-26札幌合同ビル2F
 TEL.011-590-1149 FAX.011-590-1154
<http://shudou-soccer.com/idea.php>

役員名簿

会長	土田 修	副会長	田原 由美	副会長	桑原 美誠	副会長	古山 睦	副会長	荒山 望子	副会長	本間 博	副会長	本加 貴栄	副会長	本加 秋	監事	長秋	監事	秋
----	------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	------	----	----	----	---

理事名簿

【東】	中村 香	【西】	荒野 光	【南】	中野 吉	【北】	深谷 正	【中央】	小林 正	【白石】	安藤 竜	【豊平】	澤山 慎	【厚別】	若山 英	【手稲】	千葉 雅	【清田】	青木 策
-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

北園小学校	元町小学校	手稲東中学校	手稲平中学校	二十四軒小学校	山鼻中学校	あつべつきた幼稚園	手稲中学校	平岡中学校
-------	-------	--------	--------	---------	-------	-----------	-------	-------

平成29年度 役員・理事の紹介

平成29年度役員・理事の皆さん

平成29年度 札幌市PTA共済会 定時社員総会 札幌市PTA協議会 定期総会

平成29年度 市P協研修セミナー

「みんなの学校が 教えてくれたこと」

～学び合うことの大切さから 自分から学ぶ子の育て方～

講師 木村泰子氏

日時 2017年9月8日(金)

開場 9:30 開演 10:00

第1部 10:00～「みんなの学校」上映(106分) 休憩 11:50～(会場内飲食可) 第2部 12:15～13:45 講演会

会場 共済ホール

札幌市中央区北4条西1丁目1

対象 札幌市立の幼稚園及び小・中学校PTA会員

申込方法 申込書にご記入のうえ、各学校(園)に提出してください。

申込締切 7月24日(月)

定員 650名

お問い合わせ 札幌市PTA協議会事務局 TEL 011-671-2371

入場無料

※誠に勝手ながら定員に届き次第、申し込みを締め切らせていただきます。 ※駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。

平成29年度 市P協常設委員会開催

6月7日(水)わくわくホリデーホール第1会議室にて平成29年度常設委員会全体会が開催されました。司会の古家副会長のもと、まずは土田会長の挨拶、続いて各常設委員会の担当役員の紹介があり、その後前年度の各委員長より委員会の活動内容の説明がありました。全体会終了後、委員会ごとに集まり、第1回目の委員会が開催されました。担当役員の司会のもと、どの委員会も程なく委員長・副委員長・IT担当が決まりました。

平成29年度の年間計画が立てられ、それぞれ今年度の活動をみんなで意義深いものにしていこうという意気込みが感じられる常設委員会となりました。7月6日(木)にはちえりあにて第1回委員長・副委員長会議が開催され、各委員長から今年度の年間計画が発表されました。

委員長・副委員長会議の様子



常設委員会 委員長・副委員長

Table listing committee members: 総務委員会 (委員長 相馬 清美, 副委員長 香西 浩子), 広報委員会 (委員長 松山ひとみ, 副委員長 井手 純恵), 研修委員会 (委員長 飛弾野聖美, 副委員長 福原 由利).

国内研修に参加して

札幌市立日章中学校 小林 玲奈

私はこの研修旅行をとても楽しみにしていました。しかし、飛行機の乗り換えも自分達だけでしなければならず、少し不安でした。なんと家族旅行との違いが実感しました。まず着いて驚いたのは、島内散策で海辺を歩いている時、二機の戦闘機が飛んで行ったことです。平和のどかかそつに見える島にも、米軍基地問題があることに気づきました。沖縄では、文化が日常生活にしっかりと根付いています。例えば石敢當、うちなーぐちなど至るところで見られました。しかし札幌では、アイヌ語を使う人を見たことがありません。文化を残すということではなく、人々の生活に取り込まれることが大切だと思いました。今回の研修にあたり、5冊ぐらいの本を読み集団自決について調べました。実際に語り部さんの話を聞き、本当は思ひ出したく

これからの私の目標

札幌市立発寒中学校 伊藤 真碧

私がこの研修に参加したきっかけは、貴重な戦時中の話を聞いたり、沖縄や日本各地の文化や伝統を学ぶためでした。ですが、実際はこれら以外にもリーダーとしての行動を学び、何よりも自分自身が大きく変わった気がしました。その中でも心や意識が大きく動いたのは、平和学習とキャンドルミーティングなどの班での話し合いの際でした。平和学習では、語り部さんの生々しい、心が痛む話を聞きました。今、私たちが何気なく暮らしているのも、語り部さんが辛い中継いでいたに話を語り継いでいたに気がしました。そんな中、普段私は遊んでいた、社会や周囲にあまり貢献せず、ただ淡々と無意味な時間を過ごしていました。だからこそ、今私にできること、聞かせてもらった戦争体験の話を周りに伝えること、貢献しながらも、自分

書き損じハガキ回収についてのご報告とお礼

書き損じハガキの回収につきましては、いつもご協力をいただきありがとうございます。平成28年度に各ご家庭、各単位PTA等から寄せられました書き損じハガキは、4,307枚【84校(園)】となりましたのでご報告いたします。お寄せいただいた書き損じハガキは、換金後、事業・研修・調査研究等に充て、会員の皆さまへの還元を目的として活用させていただきます。今後ともご協力の程よろしく申し上げます。

三行詩募集終了

「楽しい子育て全国キャンペーン」～家庭で話そう! 我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

家族の会話やコミュニケーションから育まれるきずなや家庭のルール、子どもたちの基本的な生活習慣づくりなどの家庭教育の大切さや命の大切さをテーマとして短文で表現したもの、また、家庭での日常の出来事のほか、学校や地域でのエピソードをもとに、テーマに即して家族で話し合った内容なども含め、「三行詩」を募集いたしました。たくさんのご応募ありがとうございました。

- 主催 公益社団法人日本PTA全国協議会
●表彰 表彰式は12月23日に東京都内で開催予定
優秀作品には賞状を贈呈
※応募作品については、札幌市PTA協議会が第1次選考を行い、日本PTA全国協議会に推薦いたします。
※優秀作品につきましては、札幌市PTA協議会として独自に表彰を行います。(平成28年度を受賞作品は、市P協ホームページ(事務局からのお知らせ)でご覧いただけます。)

札幌市子どもの権利救済機関 子どもアシストセンター
相談してみませんか??
子どもアシストセンターでは、子ども本人や保護者をはじめ、どなたからでも、子どもに関する相談を受け付けています。
受付時間 月～金 10:00～20:00 土 10:00～15:00
電話で相談 大人用: 011-211-3783 子ども専用(通話料無料電話) 0120-66-3783
メールで相談 assist@city.sapporo.jp
http://www.city.sapporo.jp/kodomo/assist/
会って相談 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館6階 ※駐車場はありません

各区PTA連合会 紹介

西区 PTA 連合会



- ② 「PTA」の文字は西区 PTA 連合会のより深い理解と協力を表し、三文字を結合させた。バックの二重の「W」は西区を表す。
- ③ ・幼稚園 1 園
・小学校 20 校
・中学校 10 校
- ④ 15,318 名

手稲区 PTA 連合会



- ② 緑の手稲山を背景に青色でPTAの文字をもって高い目標に向かって限りなく発展することを願う手稲区PTA連合会。
- ③ ・幼稚園 1 園
・小学校 16 校
・中学校 9 校
- ④ 10,971 名

北区 PTA 連合会



- ② 緑の大地に根をおろし、北の空に輝く星の下高い目標に向かって燃ゆる情熱をもち、子等と共に伸び行く北区PTA連合会。
- ③ ・幼稚園 1 園
・小学校 29 校
・中学校 14 校
- ④ 21,194 名

東区 PTA 連合会



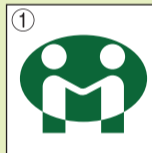
- ② まわりを取り巻く輪郭は東区の形です。その「地」の緑は優しさと豊かな地域を表し、Pの中の赤色のハートは温かく熱い心を意味しています。
- ③ ・幼稚園 1 園
・小学校 27 校
・小中学校 1 校
・中学校 12 校
- ④ 17,752 名

白石区 PTA 連合会



- ② 親・先生・地域の大人達と子どもたちとのふれあいの場の架け橋になる区P連を願って「白石」の文字でシンプルに表現しました。
- ③ ・幼稚園 1 園
・小学校 20 校
・中学校 8 校
- ④ 13,151 名

南区 PTA 連合会



- ② 豊かな自然(緑)に囲まれた住みよい地域の親同士、また親子の強い絆を、手と手を取り合う人たちとして南区の「M」で表現。
- ③ ・幼稚園 1 園
・小学校 21 校
・中学校 10 校
- ④ 9,036 名

中央区 PTA 連合会



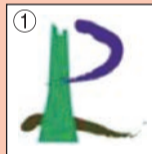
- ② 背景のCは中央区を表し、その中で保護者と学校が手を携え、共に育てていくようにLet's beginを掛け声にと願って作られました。
- ③ ・幼稚園 1 園
・小学校 16 校
・中学校 8 校
- ④ 13,720 名

豊平区 PTA 連合会



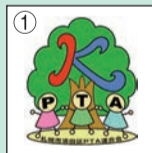
- ② 楕円形は区Pのくを表現、円盤に乗り世界・宇宙へ大きく羽ばたく雄姿と限りなき希望をイメージ。Pを3者が力強く綱引く様子は、家庭・学校・地域が協力、助け合い子どもの健全育成への努力を表した。
- ③ ・幼稚園 1 園
・小学校 21 校
・中学校 10 校
- ④ 14,284 名

厚別区 PTA 連合会



- ② 茶色の部分は「厚別の丘陵」を表し、緑色の部分は「百年記念塔」を表しています。青色の部分は「未来へ向かう希望」を表しています。マーク全体は、PTAのアルファベット文字を表しています。
- ③ ・幼稚園 1 園
・小学校 15 校
・中学校 8 校
- ④ 8,745 名

清田区 PTA 連合会



- ② 共に手を取りあって協力し合いPTAが幹となり清田区の子どもたちが大きな木のように立派に育つようにとの願いを込めて。
- ③ ・幼稚園 1 園
・小学校 16 校
・中学校 7 校
- ④ 10,088 名

凡 例

- ① 各区PTA連合会シンボルマーク
- ② シンボルマークの由来
- ③ 単位PTA数(園・学校数)
- ④ 在籍数(園児・児童・生徒数の合計)

※平成29年5月現在

みんなで
行こう!

第64回日本PTA北海道ブロック研究大会

小樽大会

10月7日(土) 開催
8日(日)

本年度は海と山に囲まれた美しい自然、四季が織りなす多彩な風景、明治・大正・昭和の面影をしのばせ、かつての栄華を今に伝える運河や歴史的建造物をはじめ、産業・芸術・文化、市民の暮らしに至るまで、多様な観光資源に恵まれた魅力ある都市小樽でいっしょにPTA研究大会に参加してみませんか?

大会スローガン 『未来へ つながろう ひとりひとりの心 海より大きな愛で育てよう』

大会主題 『北海道開拓の礎^{いしずえ} このまちから未来へはばたく子どもたちのために』
～今 伝えたい 親・子ども・地域のつながり～

- 分科会
- 1 【組織・運営】～防災に対する地域との連携～
 - 2 【家庭教育】～健やかな心と絆を育む家庭教育～
 - 3 【学校支援】～子どもたちのために 『PTA』が『学校』にできること～
 - 4 【地域連携】～子育てを支える地域のつながり～
 - 5 【食育】～『いただきます』からはじまる食育～
- 特1【北海道中学生討論会】～中学生だからできること～わたしたちからの提言～
特2【地域独自のテーマ】～知識を磨き、心を磨く情報モラル教育～

記念講演 演題：『北海道の歴史から学ぶ命の大切さと親子のつながり』
講師：山川 隆氏 (トンボハイヤー株式会社取締役(非常勤)小樽観光ガイドクラブ顧問
北海道千年の森プロジェクト副理事長 絵本・児童文学研究センター相談役)

会場 小樽市民会館 グランドパーク小樽 小樽市内各施設 小樽市内小中学校

第40回

《PTA広報紙まつり》のお知らせ

恒例の「札幌市PTA広報紙まつり」を今年度も開催します。応募概要を下記のとおりお知らせいたしますので、応募を予定されている各単位PTA、広報担当者様は広報紙作りの参考にしてください。また展示のみの応募も受け付けております。正式な応募要項は2学期に入りましたら各園・校にご案内いたします。

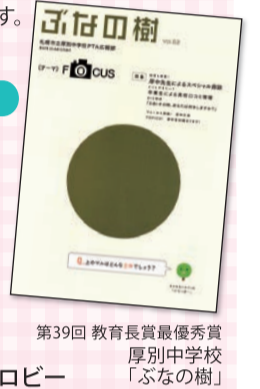
- 1. 募集期間** 平成29年11月24日(金)～12月22日(金)
- 2. 対象作品** 平成29年1月～12月までに発行した広報紙の中から各応募部門につき1点(募集期間以降に発行される対象広報紙につきましては事前にご連絡ください)
- 3. 応募部門** ① オフセットの部…印刷業者に依頼して印刷したもの。
② 手作りの部…上記以外(園または学校で印刷したもの、手書きのものを含む)。
- 4. 審査基準** ①「PTA活動」の紹介
②積極的な企画性・アイデアが見られるか
③全体(見やすさ・読みやすさ)のバランス

※「PTA活動」の紹介の無い広報紙が応募に多く提出されます。審査基準に合致しませんのでご注意ください。

5.「札幌市PTA広報紙まつり」表彰式のご案内

ご応募いただきましたすべての広報紙の一般掲示と、受賞作品の表彰式は下記日程で開催予定です。

平成30年2月19日(月)
「札幌市PTA広報紙まつり表彰式」
札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
札幌市生涯学習総合センターちえりあ 6階講堂
作品の掲示期間
平成30年2月19日(月)～23日(金) ちえりあ 1階ロビー



第39回 教育長賞最優秀賞 厚別中学校 「ぶなの樹」

札幌市PTA共済会は、文部科学省及び北海道教育委員会に認可され、平成23年11月から6年目を迎えることが出来ました。これもひとえに、園児児童生徒のために保護者や教職員等多くの加入者の皆様の深いご理解とご協力の賜と、共済会理事、社員一同心より感謝申し上げます。

今年度も、札幌市PTA共済会への事故報告は捻挫・骨折から死亡事故や後遺障害に至るまで、年間3,000件余りが報告されております。共済会

現在の社会を見てみると、連日、様々な事件事故等が報告され、決して子どもたちが健やかに育つ環境とは言いがたありません。日々育っていく子どもたちの姿に私たち大人は癒やされ、次代を担う子どもたちのために、より良い社会形成に努めなければと強く思うところなのです。

昨年度末に、監督官庁である文部科学省と北海道教育委員会による立入検査が実施され、適切な事業執行がなされていることの確認をいただきました。本年5月より完全施行となった改正個人情報保護法に留意して、今後も共済会社員が一丸となって園児児童生徒の教育の一端を担う共済会となるように、微力ではありませんが努めて参りたいと考えております。



いっしょに
つなごう

一般社団法人札幌市PTA共済会

理事長 松田 健一郎

PTA 共済会からのお知らせ 事故報告・共済金請求手続きについて

この共済金給付制度には、学童(園児・児童・生徒)のための「学校管理下外を補償する共済」と保護者等のための「PTA活動中を補償する共済」の二つがあります。平成29年度は、札幌市立の幼稚園・小学校・中学校の307単位PTA中、304PTAが加入しています。

★事故があったら
学童の学校管理下外、又は保護者等のPTA活動中に対象となる事故にあった場合は、速やかに「事故報告書」の提出が必要です。学校のPTA共済会担当の先生へご連絡願います。

※ケガをした日からその日を含めて30日以内に報告がない場合は、共済金の支払ができませんので、ご注意ください。

★ケガの治療が終わったら
治療終了後、「共済金請求書兼治療申告書」を学校のPTA共済会担当の先生へ提出してください。学校管理下外の事故を請求する場合は、ケガをした日から起算して3日以内においても治療が続いている状態、という「日数条件」があります。PTA活動中の事故に日数条件はありません。

また、共済金の支払限度日数は、事故が発生してから180日となっていますので、治療途中であっても180日が経過しましたら、請求してください。共済金の受取口座名義はカタカナで記入してください。

★共済金額算定の基本は
入院、通院、治療用固定具(ギプス等)使用日の一日当たりの定額計算で算出されます。固定具名・期間は間違いないように記入してください。尚、固定具の種類によって算定限度期間があります。また、治療費、検査費、装具費、診断書発行費などの諸経費は算定されません。

★診断書が必要な場合は
共済金請求額が5万円以上の時、入院を伴う手術をした時、整形外科への実通院日が30日を超えた時は医師の診断書(コピー可)が必要です。その他の場合は、領収書又は診療明細書(いずれもコピー)を添付してください。(領収書が無い場合はご相談ください)

★不明な点は
各学校のPTA共済会担当の先生または札幌市PTA共済会の事務局へお問い合わせください。(671-2372)

学童

事例1～下校中道路にはみ出し、乗用車にはねられた。
脳しんとう・気胸骨折・挫創。

・入院共済金……1,000円×2日分で2,000円
・通院共済金……500円×26日分で13,000円 } 合計 15,000円
※ギプスしていた15日も通院とみなす。

※登下校の交通事故は、学校管理下ではあるが、スポーツ振興センターの対象外なので共済会が補償する。

事例2～自転車走行中、自動車と出会い頭衝突し、脳震盪、左橈骨骨折、左大腿部打撲のケガ

・入院共済金……1,000円×3日分で3,000円
・通院共済金……500円×38日分で19,000円 } 合計 22,000円
※ギプスしていた25日も通院とみなす。

PTA

事例1～PTAおやじの会主催の野球大会で、スライディングの際、右足アキレス腱断裂

・入院共済金……4,000円×30日分で120,000円
・手術共済金……50,000円
・通院共済金……2,500円×41日分で102,500円 } 合計 272,500円
※ギプスしていた30日も通院とみなす

